



「帰願」川田一一 作

故・祖父 川田一一 と 孫 千田豊実の二人展

戦後80年

記憶のしらべ

～後世に伝える平和人の祈り～

2025年 7月29日 (火) ～ 8月17日 (日)

さぬき市細川林谷記念館 香川県さぬき市寒川町石田東甲931番地
9:00～17:00 (最終日16時まで) ＊入館は16:30まで | 月曜日休館 | 入場無料

「シベリアで亡くなり、帰国が叶わなかった抑留仲間のことを忘れないでほしい。そのためには、過酷な抑留生活の記憶や仲間への想いを絵に残すこと。それが、生きて帰ってきた私の役目かもしれない。」そう信じて、70歳から絵筆をとり、元抑留者として抱えてきた想いを無心に描き続けた故 川田一一。祖父の想いを絵を通して繋いできた美術作家 千田豊実。戦後80年。さぬき市教育委員会では、戦争や平和について深く考え、平和な社会を実現するために主体的に行動する力を育む平和学習の一助となりますことを強く願い、「祖父と孫の二人展」を開催します。

川田 一一 Kazuichi Kawada

1925年 香川県さぬき市生まれ
1943年 香川県立木田農業学校 卒業
1943年 南満州鉄道株式会社殖産部に配属
農業技師としてフルルキ農業修練所に入営
1945年 2月 召集され 鞍山高射砲隊に入隊
終戦後 鞍山から奉天に集結し 武装解除
ソ連軍の捕虜となる
1945年10月 カザフスタンにて約3年間 抑留される
1948年12月 引き揚げ船でナホトカ港から舞鶴港に上陸
1995年 肺を患い「元気なうちに抑留の実態を伝えなければ」と 幼い頃から好きだった絵を描き始める
2012年10月 間質性肺炎のため他界

千田 豊実 Toyomi Senda

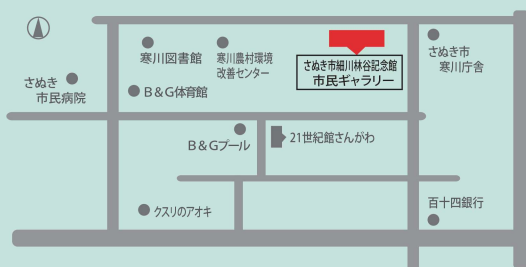
1982年 香川県さぬき市生まれ・在住
2005年 多摩美術大学 美術学部絵画学科 卒業
2005年 東京やベルリンを拠点に制作・発表
2009年 帰郷し 美術作家・講師として活動続ける
2009年 抑留経験を絵にした祖父と孫の二人展を開催
2013年 「Senda Atelier」創立

[祖父と孫の二人展]
2009年 "記憶の調べ" 21世紀館さんがわ
2010年 "私のシベリア 私の祖父" 舞鶴引揚記念館
2013年 "鎮魂 ～後世に伝える平和への祈り～" 21世紀館さんがわ
2015年 "遺されたもの～戦後70年～" かまどホール

ギャラリートーク 「子・孫の世代から見たシベリア抑留」

8月10日(日) 10:00～11:00 さぬき市細川林谷記念館市民ギャラリー 定員40名(申込不要)

元抑留者であった父・蓮井秀義氏が遺した歌集「シベリアの月」を出版した娘の西岡秀子氏をお招きして、元抑留者の子や孫の世代から見たシベリア抑留について、西岡氏と千田氏が対談します。



会場:

さぬき市細川林谷記念館

香川県さぬき市寒川町石田東甲931番地 Tel 0879-43-0655

主催: さぬき市教育委員会

共催: Senda Atelier

お問い合わせ:

さぬき市教育委員会生涯学習課 Tel 0879-26-9974